

唐門

唐門は、皇室の使節が僧院に入るために使用する国宝の門です。1599年に建てられ、2010年に改装されました。

門は黒漆で覆われ、金箔張りの浮き彫りの8つの紋章で装飾されています。門の両側には、16枚花卉の菊が2つと、桐の花と葉が2つあります。

菊と桐の両方のモチーフは、もともと皇室の印章として造られました。今日は前者のみが印章として使用されます。後者は、豊臣秀吉の家紋に採用されました。